

事業報告書

令和6年度

人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社京都府支部

目 次

写真で見る日本赤十字社京都府支部の活動

はじめに

ページ

1. 令和6年京都府赤十字大会の開催	2
2. 災害救護活動	3
3. 赤十字の各種講習	11
4. 赤十字奉仕団	12
5. 青少年赤十字（JRC）	15
6. 医療事業	18
7. 健康相談など医療社会事業	22
8. 看護師の養成	22
9. 血液事業	23
10. 国際活動	25
11. 社員（支援者）増強と社資（活動資金）募集	26
12. 赤十字思想の普及・広報活動	29
(資料) 令和6年度の主な行事	33
表彰	34
役職員名簿	35
評議員名簿	36
日本赤十字社京都府支部 地区・分区組織図	37
施設一覧	38

写真で見る日本赤十字社京都府支部の活動

令和6年京都府赤十字大会の開催



西脇支部長による式辞



金色有功章受章



令和6年能登半島地震での実践活動報告
救護活動及び災害義援金の募金活動

災害救護体制の充実強化



水上安全法講習



地域奉仕団の活動



南区地区奉仕団婦人部
～緊急セットの交換活動～

赤十字思想の普及・広報活動



「せきじゅうじってどんなとこ？」1日体験会
～ハイゼックス炊飯の試食～

医療事業



京都第二赤十字病院 ~院内救護訓練~

血液事業



京都府赤十字血液センター ~献血セミナー~

は　じ　め　に

日頃から京都府民の皆様や関係各位の方々には、赤十字事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年1月に発生しました能登半島地震に際し、日本赤十字社では全社一丸となって被災地の支援活動に取り組み、京都府支部においても救護班、災害医療コーディネートチーム、こころのケア班など31チーム161名の職員・ボランティアを切れ目なく現地に派遣しました。また、昨年9月に発生した能登半島大雨災害において義援金募集活動を展開し、お寄せいただいた義援金は現地の義援金配分委員会にお送りし、被災地の方々の生活支援に役立てられています。

海外においては、ロシアとウクライナによる国際的武力紛争が激化して3年、いまだ終息が見えないウクライナの人道危機、中東においてはイスラエルとガザの大規模な武力紛争が続いています。また、台湾、ミャンマーでの大規模地震、さらに米国ロサンゼルスでの大規模な山火事、日本国内では、岩手県大船渡市での林野火災など大規模な自然災害も多発しています。

日本赤十字社ではこれら世界各地で発生した紛争、災害等への支援を継続し、京都府支部においても、多くの府民の皆様からいただいた救援金、義援金を、被災者の支援に役立てることができました。ご支援いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

京都府支部では、昨年11月、令和元年度以来となる「京都府赤十字大会」を多数の皆様にご参会いただき成功裏に終えるとともに、本年3月には、管内施設の連携による市民啓発イベント「赤十字フェスタ」を初めて開催し、地域住民の方々へ赤十字事業への理解を深めることができました。さらに、4月開幕の大阪・関西万博における「国際赤十字・赤新月運動館」の広報周知やスタッフ派遣等の準備に本社及び近畿ブロック支部全体で取り組むなど関係機関の連携が一層進みました。

2年後の令和9年、日本赤十字社は創立150周年を迎えます。人間のいのちと健康、尊厳を守るため歩んできた歴史を踏まえ、その使命を果たしていくため、支部、各病院、血液センターが一丸となって赤十字事業に取り組んでまいります。

皆様のなお一層の温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月

日本赤十字社京都府支部

1. 令和6年京都府赤十字大会の開催

11月12日、京都市左京区のザ・プリンス京都宝ヶ池において、有功章等の受章者をはじめ、府内の赤十字関係者約500人が参加し開催されました。

式典では、西脇隆俊 京都府支部支部長の式辞に続き、名誉副総裁 寛仁親王妃信子殿下に代わり、鈴木俊彦 日赤副社長から多額の活動資金をいただいた個人と法人・団体に有功章が授与され、また鈴木副社長から社長感謝状、西脇支部長より支部長感謝状が贈呈されました。

また妃殿下（鈴木副社長代読）より、「赤十字の理念と使命を胸に、互いに手を携えて、より一層充実した活動を進められることを願っております。」とのおことばをいただきました。

続いて、鈴木副社長 挨拶、松井孝治京都市長 祝辞（吉田副市長 代読）、受章者代表謝辞、2名の実践活動報告（令和6年能登半島地震での救護活動および募金活動）、そして澤田清一 奉仕団京都府支部委員会委員長による大会宣言のあと、京都第二赤十字看護専門学校の学生による「あこがれの赤十字」を合唱して閉会となりました。

（参考）表彰件数の内訳

表彰方法	表彰件数		
	個人	法人・団体	計
金色有功章	16	11	27
銀色有功章	7	3	10
日本赤十字社社長感謝状	5	4	9
支部長表彰状・感謝状	153	6	159
合計	181	24	205



京都府赤十字大会の様子

2. 災害救護活動

(1) 令和6年能登半島地震に対する救護活動

令和6年1月1日16時10分に発生しました能登半島地震に対し、日本赤十字社京都府支部では災害医療コーディネートチーム4班、救護班11班、こころのケアチーム2班など合計161名の救護員等を派遣しました。

主な活動内容として、輪島市の避難所の巡回診療や被災された方のこころのケアなどを実施しました。

班	施設名	派遣期間	救護班							計
			医師	看護師	薬剤師	主事等	公認心理師	調整員	特殊救護要員	
こころのケアチーム	第一日赤 第二日赤 舞鶴日赤	4/22~28		3		1				4

※令和6年度については、上記のこころのケアチームを派遣しました。

(2) 救護員の体制

災害時、初動期から中長期におよぶ医療救護活動ができるよう、京都第一・京都第二・舞鶴の各赤十字病院の医師・看護師等からなる常備救護班を15班編成するとともに、血液センターにおいては血液供給班を編成するなど、有事に備える体制を構築しています。

災害等緊急派遣に対応する救護班要員の任命状況については次の通りです。

施設名	医師	看護師	一般職員	その他	合計人数	登録区分
京都府支部	0	1	12	0	13	災害対策本部要員
京都第一日赤	16	28	14	17	75	常備救護班要員
京都第二日赤	6	22	10	10	48	"
舞鶴日赤	3	9	3	3	18	"
血液センター	0	0	4	0	4	災害対策本部要員
" (福知山)	0	0	2	0	2	"
合計	25	60	45	30	160	

※京都第一日赤及び京都第二日赤の常備救護班要員には、日本DMATと京都DMATの登録者を含んでいます。

(3) 防災ボランティア団体等の状況

京都府支部における防災ボランティア団体としては、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、医療救護支援活動から物資搬送・炊き出しまでの総合的な救援活動を迅速に行う災害ボランティアを目指して平成8年1月に発足した、「赤十字レスキューチェーン京都」があり、有事の際に実働し得る団員を確保するためメンバーの増員を図るとともに、特殊技術を有する個人を防災ボランティアとして登録するなど、支部における防災ボランティアの活動基盤の構築と発展に努めています。

○赤十字レスキューチェーン京都 支会別会員数（令和7年3月31日現在）

支会名称	団員数（人）
舞鶴支会	4
福知山支会	5
亀岡支会	10
京都支会	16
長岡京支会	8
宇治支会	13
合計	56

また、災害初動期の医療救護活動の支援体制をより強固にするため、団員のうち所定の基準を満たす者を本社規程に基づく特殊救護要員に登録し有事に備えています。

令和6年度特殊救護要員登録者数（人）	24
--------------------	----

(4) 救護員等の訓練、研修

京都府支部では、救護体制及び技術の向上に努めるため、京都府や京都市など行政機関が実施する総合防災訓練等への参加や、赤十字独自の救護訓練を実施するなど、実践的な訓練や研修に積極的に取り組んでいます。

① 各種防災救護訓練の参加実績（ボランティア派遣人員を含む）

訓練名称	実施日	会場	参加者（人）
第4ブロック合同災害救護訓練	6/15	和歌山県 (和歌山県消防学校)	45
宇治市総合防災訓練	10/20	宇治市（北檜島小学校）	5
近畿府県合同訓練（京都府総合防災訓練）	10/26～27	福知山市（陸上自衛隊福知山訓練場ほか）	41
京都市総合防災訓練	11/9	左京区（岡崎公園一帯）	24

訓練名称	実施日	会 場	参加者 (人)
京都府原子力総合防災訓練	12/1	上京区（京都府庁）	2
京都刑務所総合防災訓練	2/14	山科区（京都刑務所）	13



京都市総合防災訓練
(救護所の様子)

② 職員等救護員を対象とした教育研修実績

研修会の名称	実施日	会 場	参加者 (人)
日赤災害医療コーディネート研修会 (第1回)	7/5~6	本社	1
全国赤十字救護班研修	8/17~18	大阪府支部	8
緊急車両特別研修	9/28~29	兵庫県 (はりま交通センター)	7
こころのケア研修会	10/7、10/21	舞鶴赤十字病院	12
こころのケア指導者養成研修会	10/9~10	本社	1
日赤災害医療コーディネート研修会 (第2回)	11/23~24	本社	1
救護員としての赤十字看護師研修 (救急法)	11/26~28	舞鶴赤十字病院	9
救護班要員基礎研修	12/22	京都第一赤十字病院	85
こころのケア研修会	12/23~2/4	京都第二赤十字病院 (E-learning+対面)	21
こころのケア研修会	2/10~3/7	京都第一赤十字病院 (E-learning+対面)	22
日赤災害医療コーディネートフォローアップ研修会	2/15	WEB(オンライン)	19
日本災害医学会総会・学術集会	3/6~8	愛知県 (ポートメッセなごや)	2
合計			188

③ 救護体制の検討等に関する会議

会議の名称	実施日	会 場	参加者（人）
第4ブロック救護員指導者協議会	4/23	和歌山県支部 WEB（オンライン）併用	1 6
支部救護員指導者協議会（第1回）	5/9	京都府支部 WEB（オンライン）併用	2 2
第4ブロック救護員指導者協議会	9/24	WEB（オンライン）	1 6
支部救護員指導者協議会（第2回）	10/2	京都府支部 WEB（オンライン）併用	2 0
第4ブロック救護員指導者協議会	12/2	高槻赤十字病院 WEB（オンライン）併用	1 9
第4ブロック救護員指導者協議会	3/26	大阪府支部 WEB（オンライン）併用	1 6
合計			1 0 9

（5）日本赤十字社防災教育事業（赤十字防災セミナー）

京都府支部では、受講者に対して災害への備えや非常時の心構え等を紹介するとともに、災害時における赤十字の活動について知ってもらうため、「赤十字防災セミナー」を開催しています。本セミナーは、地域における啓発活動の一つとして位置付けられており、地区・分区や社会福祉協議会、自治会等において積極的に展開しています。



赤十字防災セミナー
～災害図上訓練（DIG）で、危険箇所や
避難経路を考える～

① 赤十字防災セミナー

内容	実施日	会 場	参加者 (人)
災害への備え/避難所体験	6/6	伏見区（京都パルスプラザ）	19
災害への備え/能登半島地震災害報告	6/24	向日市（永守重信市民会館）	30
災害への備え/能登半島地震災害報告	6/27	南区（都ホテル京都八条）	70
避難所体験	7/31	京都府支部	21
避難所体験	8/1	京都府支部	34
災害への備え/能登半島地震災害報告	8/2	亀岡市（ガレリアかめおか）	180
災害への備え/KAG	9/12	上京区（アットすまいる御所西）	19
災害への備え	9/22	山科区 (音羽千本市営住宅自治会集会所)	12
災害エスノグラフィー	10/13	京都府支部	9
災害への備え/能登半島地震災害報告	11/27	京都府支部	9
災害への備え/KAG	12/1	京都府支部	35
災害への備え/避難所体験	2/1	京田辺市（京都府立洛南寮）	25
災害への備え/能登半島地震災害報告	2/2	右京区（花園会館）	70
災害への備え/避難所体験	3/8	下京区（YIC専門学校）	20
災害図上訓練DIG	3/16	山科区（キャッツ）	20
合計			573

※DIG（災害図上訓練）：地域の防災マップの作成を通じて、危険箇所等を把握・理解し防災対策を考える。（DIG : Disaster（災害）Imagination（想像力）Game（ゲーム）の頭文字）

※KAG（家具安全対策ゲーム）：自宅の平面図を描くゲームを通じて、家具の安全対策について理解し、身の安全を守る方法を学ぶ。

② 日本赤十字社防災教育事業における支部指導者数

日本赤十字社防災教育事業における指導者数	職員（人）	ボランティア（人）
	13	57

(6) 救護、救援活動派遣実績

災害発生時の物資搬送や地域のマラソン大会などの事故の発生に対応するため、医師、看護師等を派遣しています。

救護員の派遣実績（ボランティア派遣人員を含む）

内 容	実施日	場 所	派遣人員（人）
宇治川マラソン大会	2/23	宇治市（太陽ヶ丘 他）	28

(7) 救護資機材の整備

災害救護で必要な救護関係資機材は、移動手段として最も重要な車両整備をはじめ、最新の通信系機器やその他資機材の整備に努めました。

今後も、災害救護活動が迅速かつ円滑に展開できるよう、より一層、資機材の充実を図ることとしています。

資機材品目		保有数量	備考
救護車両	救急車	4	第一、第二（2台）、舞鶴の各病院に常置
	装備車（トラック）	3	
	その他の救援車両	4	
除染	除染設備（テント）	1	除染設備一式、特殊防護服は舞鶴に常置
	特殊防護服（レベルC）	4	
テント	エアー	1	
	パラソル	39	27張は地区・分区に配備
	ドラッショテント	3	
医療セット		3	第一、第二、舞鶴の各病院に常置
除細動器（AED 8台を含む）		13	3台のAEDは救急車搭載用
発動発電機		18	4台はドラッショテントとエアテント用
担架（特殊を含む）		28	
衛星通信機器（車載用2台を含む）		11	
無線機	150MHz	32	
	410MHz	26	
	簡易業務無線	7	京都DMATとの通信用

※この他に、除染設備（テント）一式及び特殊防護服（レベルC）4着が京都第一、京都第二赤十字病院のそれぞれに京都府から貸与されています。

(8) 災害救護用備蓄倉庫

地域	設置場所	形状
京都市	京都府支部内	敷地内倉庫等
	日赤京都救護活動センター (京都府赤十字血液センター内)	建物内
府北部	舞鶴赤十字病院敷地内	2階建独立建物
	京都府赤十字血液センター福知山出張所内	コンテナ倉庫
	綾部市消防本部敷地内	コンテナ倉庫
	亀岡市役所地下2階	庁舎内倉庫
	京丹波町役場敷地内	軽量鉄骨造
府南部	宇治市職員会館敷地内	コンテナ倉庫
	長岡京市スポーツセンター敷地内	コンテナ倉庫
	京都府長岡京市記念文化会館	軽量鉄骨造
	井手町役場敷地内	コンテナ倉庫
	宇治田原町役場敷地内	コンテナ倉庫
	精華町地域福祉センターかしのき苑敷地内	コンテナ倉庫

(9) 救援物資の配布と備蓄

南北に長い京都府の地理的条件から、災害時に即応するため、救援物資である毛布・緊急セットを府内全市町村の地区・分区に備蓄しているほか、令和6年度は宇治田原町に京都府支部の災害救護用倉庫を設置しました。災害救護用分置倉庫に救護資材及び救援物資を備蓄しています。

①救援物資の配分状況 (京都府内分)

被害区分	被災世帯及び人員		毛布 配分数(枚)	緊急セット 配分数(個)	安眠セット 配分数(個)	タオルケット 配分数(枚)
	世帯数 (世帯)	人員(人)				
住家全焼	16	38	25	17	36	6
住家全壊	0	0	0	0	0	0
住家流出	0	0	0	0	0	0
住家半焼	11	23	11	6	11	13
住家半壊	0	0	0	0	0	0
住家床上浸水	2	4	5	2	4	0
避難所	4	18	0	2	18	0

被害区分	被災世帯及び人員		緊急セット 配分数(個)	安眠セット 配分数(個)	タオルケット 配分数(枚)	被害区分
	世帯数 (世帯)	人員(人)				
その他	7	15	11	5	8	4
合計	40	98	52	32	77	23

②救援物資の備蓄状況

場所	毛布(枚)	緊急セット(個)	安眠セット(個)	タオルケット(枚)
支部等の倉庫	4,752	2,422	894	3,149
地区・分区	2,250	801	768	941
合計	7,002	3,223	1,662	4,090

(10) 災害死亡見舞金の贈呈

令和6年度は、火災などの災害により死亡された14名の方の遺族に、地区・分区を通じて見舞金を贈りました。

(令和7年3月31日現在、京都府支部に申請のあった分)

14件 14名 280,000円(1名あたり 20,000円)

(11) 国内災害義援金

(令和7年3月末現在)

区分	京都府支部		
	令和6年度受付分	受付開始からの累計額	
令和6年能登半島地震災害義援金	90件	51,072,542円	134,581,227円
令和6年7月25日からの大雨災害義援金	5件	41,970円	41,970円
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	18件	1,594,021円	1,594,021円
令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金	2件	11,155円	11,155円
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	4件	1,120,015円	1,120,015円
合計	119件	53,839,703円	

3. 赤十字の各種講習

不慮の事故や急病に対する応急手当の方法や、家庭内での病気の予防や看護の方法などの知識と技術を身につけ、一人でも多くの方々に健康で幸せな生活を送っていただくために、救急法・水上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法の講習を府内各地で実施したほか、講習の指導にあたる指導員の養成にも努めました。その実施状況は次のとおりです。

講習区分	資格講習				短期講習		合計	
	基礎講習		救急員等養成講習					
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
救急法	36	1,033	23	647	94	4,342	153	6,022
水上安全法			4	53	26	834	30	887
健康生活支援講習			3	82	17	353 (121)	20	435
幼児安全法			3	82	55	919	58	1,001
合計	36	1,033	33	864	192	6,448	261	8,345

※この他に、雪上安全法の講習もありますが、京都府支部では実施していません。

※（ ）内は、災害時高齢者生活支援講習の受講者数

（1）指導体制

講習名	支部職員	施設職員	ボランティア	合計人数
救急法	8	40	92	140
水上安全法	1	0	20	21
健康生活支援講習	2	25	4	31
幼児安全法	4	28	9	41

（2）講習指導員関係講習会・研修会

講習会・研修会の名称	実施日	会場	参加者（人）
赤十字幼児安全法講習講師研究会	7/9～10	本社	1
赤十字救急法指導員養成講習会	8/10（事前研修） 9/14、15、16、21、22（本講習） 10/12、13（事後研修）	京都府支部	10

講習会・研修会の名称	実施日	会 場	参加者 (人)
赤十字幼児安全法講師研修会	10/2～3	本社	1
赤十字健康生活支援講習講師研修会	10/3～4	本社	1
赤十字幼児安全法指導員養成講習会	10/19 (事前研修) 11/21～25 (本講習) 12/14、15 (事後研修)	京都府支部	9
赤十字幼児安全法講師養成講習会	11/13～15	本社	1
赤十字幼児安全法指導員研修会	12/17、12/20	京都府支部	28
赤十字健康生活支援講習指導員研修会	12/17、12/20	京都府支部	27
赤十字水上安全法指導員研修会	2/9	左京区(京都踏水会 水泳学園)	10
赤十字救急法指導員研修会	2/2、2/8、2/17、2/18	京都府支部	95



救急法
～三角巾を使ったケガの手当～



水上安全法
～体を使った救助の方法～

4. 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の基盤となるべき重要な奉仕者の組織として、赤十字事業の推進を図るうえで欠くことのできない存在です。奉仕団の活動は、それぞれの地域に即した奉仕活動を行うために組織されたもので、日本赤十字社の地区・分区を中心として、一定の地域を単位として結成されています。

各奉仕団は、それぞれの特性を生かし、赤十字思想の普及・活動資金の募集・献血の推進・災害時に備えた救援活動や各種奉仕活動を行っています。

(1) 奉仕団登録状況

区分	団数(団)	分団数(団)	人数(人)	備考
地域奉仕団	14	220	1,796	京都市11団、綾部市1団、舞鶴市1団 ※休団中、城陽市1団
青年奉仕団	3	—	259	赤十字京都ユース27名 京一・京二看護学生奉仕団232名
特殊奉仕団	2	—	79	赤十字レスキューチェーン京都 56名 青少年赤十字賛助奉仕団 23名

(2) 奉仕団活動状況

①赤十字レスキューチェーン京都

行事名	実施日	会場	参加者(人)
赤十字無線救護奉仕団 第4ブロック連絡協議会役員会	4/13	大阪府支部	2
第4ブロック合同災害救護訓練	6/15	和歌山県(和歌山県消防学校)	5
宇治市総合防災訓練	10/20	宇治市(北檜島小学校)	4
近畿府県合同訓練(京都府総合防災訓練)	10/26~27	福知山市(陸上自衛隊福知山訓練場ほか)	4
京都市総合防災訓練	11/9	左京区(岡崎公園一帯)	5
京都府赤十字大会	11/12	左京区(ザ・プリンス京都宝ヶ池)	8
京都刑務所総合防災訓練	2/14	山科区(京都刑務所)	3
宇治川マラソン大会	2/23	宇治市(太陽が丘他)	16
合計			47

② 赤十字京都ユース(RCY)

行事名	実施日	会場	参加者(人)
第4ブロック青年赤十字奉仕団協議会 代表者会議	6/2	兵庫県支部	3
HIV/AIDSピア・リーダー養成研修会	9/22	WEB(オンライン)開催	6
京都府青年赤十字奉仕団基礎研修会	10/13	京都府支部	6
青年赤十字奉仕団第4ブロックリーダー 養成研修会	11/15~16	兵庫県支部	4

行事名	実施日	会 場	参加者(人)
京都市はたちを祝う記念式典のボランティア活動	1/13	左京区(京都市勧業館 みやこめっせ)	1
第35回全国車いす駅伝競走大会	3/8~9	右京区(西京極総合運動公園)他	10
合 計			30

③ 青少年赤十字賛助奉仕団

行事名	実施日	会 場	参加者(人)
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7/10~12	本社	1
京都府青少年赤十字賛助奉仕団総会	7/16	京都府支部	8
第4ブロック支部 青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会	9/17~18	兵庫県支部	5
青少年赤十字加盟式 京都市立梅津中学校	2/21	京都府支部	2

(3) 施設奉仕活動状況

奉仕団名	活動場所(活動内容)	活動延日数	活動延人数
南区奉仕団婦人部	京都府支部(緊急セットの整備)	1日	21人

(4) 赤十字奉仕団支部指導講師の活動状況

①支部指導講師 4名

②活動状況

活動内容	実施日	会 場	参加者(人)
京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター小学生の部	7/27、28	下京区 (ひと・まち交流館 京都)	60
京都府青少年赤十字リーダーシップ・高校生の部	8/5、6	京都府支部	42
京都府青年赤十字奉仕団基礎研修会	10/13	京都府支部	1
青年赤十字奉仕団第4ブロックリーダー養成研修会	11/15~16	右京区(あうる京北)	1
JRC・青年奉仕団対象研修会	1/18~19	和歌山県支部	1
赤十字救急法指導員研修会	3/17	京都府支部	26

5. 青少年赤十字（JRC）

将来の赤十字の担い手を育成する青少年赤十字活動を展開し、その強化を図るため、京都府・京都市並びに各市町村の教育委員会、青少年赤十字指導者協議会、青少年赤十字賛助奉仕団等の協力を得て、子どもたちが赤十字の精神を理解し、日常生活の中で望ましい人格を作り上げることができるよう、学校教育の中で取り組まれています。

（1）加盟校とメンバー数

区分	幼稚園・保育園 認定こども園	小学校	中学校	義務教育校	高校	合計
加盟校数 (校)	18	171	10	10	8	217
メンバー数 (人)	1, 148	61, 977	4, 341	3, 897	64	71, 427

（2）リーダーシップ・トレーニング・センター

区分	実施日	参加者(人)	会場
小学生の部	7月27日、7月28日	60	下京区（ひと・まち交流館 京都）
高校生の部	8月5日、8月6日	42	京都府支部



青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター～小学生の部～

（3）研修会の実施

研修名	実施日	会場	参加者(人)
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	5/31～6/2	東京都 (国立オリンピック記念 青少年総合センター)	1
救急法基礎講習（JRC高校生メンバー）	8/8	京都府支部	42
救急法救急員養成講習（JRC高校生メンバー）	8/9、10	京都府支部	27
青少年赤十字指導者中央講習会	11/4	本社	1
青少年赤十字研究会	1/10	本社	2
赤十字奉仕団指導講師研修会	1/25～27	本社	1

研修名	実施日	会場	参加者 (人)
第4（近畿）ブロック青少年赤十字指導者研修会	3/1	和歌山県支部	3
第3回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	3/10	京都府支部	24
青少年赤十字スタディー・センター	3/22～26	山梨県（東照館）	3

（4）青少年赤十字モデル事業

テーマ・内容
京都市立乾隆幼稚園 健康・安全：毎月の避難訓練や「ぼうさいまちがいさがしきけんはっけん！」を活用して年間を通じて月に1回、安全の日に避難訓練を実施。火災、地震、水害、保護者への引き渡し訓練や小学校との合同訓練、防犯訓練を行い、園児の防災意識を高めます。年長児は、日赤の防災教材「ぼうさいまちがいさがしきけんはっけん！」を用いて、災害時の行動を考えます。訓練後には行動を振り返り、自己防衛の意識も高めています。子どもたちが意見を出し合い、「勉強になった」との声もあり、自分の命を守る行動を育んでいます。
京都市立西院幼稚園 奉仕：地域の公園を大切にしよう 公園の清掃活動を毎月実施し、親子と地域の民生委員児童委員が参加しています。この活動を通じて、公共の場を大切にするという意識を育み、地域の一員としての自覚を深めます。清掃後の公園の美しさを実感し、愛着が芽生え、汚さないように使おうという気持ちが育まれました。また、地域の方々との交流を通じて、共に喜びを感じる機会となっています。
京都市北醍醐小学校 健康・安全：「北醍醐モデルver.2」 避難訓練（自然災害・不審者・事故）を実施し、学校安全の推進と安全教育の充実を図っています。校内安全マップ作りやたてわり遊びを通じて異なる学年間の交流を促進し、児童同士の絆を深めています。また、保健委員会による健康増進活動や新体力テストを通じて、児童の体力向上も進めています。これらを「北醍醐モデルver.2」の取り組みとして、学校の安全と児童の健康づくりの両面を支えます。
京都市立養正小学校 国際理解・親善：～地域の祭り・学校行事を通して何ができるか考えよう～ 韓国・朝鮮にルーツを持つ児童や多国籍の児童が在籍しており、コリアみんぞく教室や人権学習を通じて、言語・歴史・文化などを学びます。学習発表会では韓国・朝鮮の楽曲のダンスや演奏をしました。また、かもがわデルタフェスティバルなど地域の祭りの企画や様々な体験を通じて、多文化共生について考えました。これにより、児童は韓国・朝鮮の文化にも親しみを持ち、お互いを尊重する意識が育まれ、学校の一員として誇りを感じるようになりました。
京都市立桃山東小学校 健康・安全：桃山東防災プロジェクト 日赤の防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」を活用し、校内防災プログラム（自らの命、友達の命を守る行動とは？）を作成。また、地域の防災関連の方々へのインタビューを通じて、防災マップや安全マップを作成し、各学年の発達段階に応じて調査・まとめを行い、校内や地域に伝えています。児童たちが「守ってもらう」側から、自分事として安全・防災を「創りあげる」側へ意識を変えることを目指し、災害時に自分ができることを考える機会としています。この活動により、地域全体の防災意識が高まり、青少年赤十字の行動理念である「気づき・考え・行動する」のもと、児童が主体的な判断ができるように取り組んでいます。



幼稚園における避難訓練の様子



園長先生から避難訓練の振り返り

(5) 活動状況

行事名	実施日	会場等	参加者（人）
京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	4/25	京都府支部	1 1
京都府青少年赤十字指導者協議会総会	5/24	京都府支部	8
第1回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	6/8	京都府支部	3 9
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	7/12	本社	1
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター事前研修会（指導者研修）	7/12	京都府支部	9
桂坂オータムフェスタ	10/20	桂坂小学校	8
第2回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	11/9	京都府支部	2 8
ふれあいバスケット（子ども体験教室）	12/7	陵ヶ岡小学校	3 7
「NHK海外たすけあい」街頭啓発募金キャンペーン	12/14	四条河原町周辺	4 5
京都市青少年赤十字研究会による防災教室	1/24	養徳小学校	3 1
赤十字防災セミナー指導者養成研修	2/15～16	京都府支部	1 0
赤十字フェスタ	3/1	イオンモールKYOTO	3
全国車いす駅伝競走大会	3/8～9	京都市内	2 0
第3回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	3/20	京都府支部	2 4

(6) 各校における活動状況

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びとの友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開しています。

- ・救急法や防災セミナー、避難訓練など
- ・献血推進活動（献血ルームでの呼びかけや献血セミナーなど）
- ・募金活動（災害支援金や国際救援金、赤十字活動資金など）
- ・文化祭でのバザーや啓発活動（紛争、災害、献血など）
- ・清掃活動や環境保全活動（使用済みカイロの回収など）
- ・福祉施設や児童館への訪問、地域住民との交流活動



6. 医療事業

京都第一、京都第二及び舞鶴赤十字病院は地域における中核医療機関として地域医療に積極的に貢献しております。昨今の医療情勢は厳しい状況にありますが、医療の質の向上並びに医療設備の充実強化を図り、経営の安定と機能の充実に努めております。

更に、赤十字病院の使命に鑑み、日頃から医師や看護師等を救護班要員として登録し、災害発生時には、救護班要員を被災地に緊急派遣するなど、迅速な医療救護活動が展開できる体制を取っています。

(1) 京都第一赤十字病院

令和6年度の病院のスローガンは、「京都で一番の基幹病院を目指す」としています。我々は日本赤十字病院グループの理念のもとで災害医療・救急医療・地域医療において人間の命と健康、尊厳を守り、赤十字思想の普及啓発に努めるのが使命と考えています。令和6年度の主な人事異動といたしましては、令和4年から勤務されていた綾城義治事務部長が令和7年3月31日付けで退任し、新たに4月1日付



京都第一赤十字病院

けで益田結花事務部長が着任しました。これに先立ち、令和7年1月1日付で岡本和真消化器外科部長が院長補佐に昇任して、地域医療連携の推進と広報の充実を担うことになりました。

さて、当院の使命である高難度・低侵襲手術への対応強化のために、手術室を10室から12室に増室する工事を令和6年2月に着手して10月に完成しました。その結果、手術間のインターバルが削減され、手術件数が順調に増加しています。特に、増室した2室をロボット手術センターとして活用しているため、ロボット支援下手術の件数も増加しています。しかしながら、現在は手術支援ロボットが1台しかなく手術待機患者が多いため、手術支援ロボットの追加購入が課題となっています。

救急医療については安全な医療を効率よく行うために救急救命士が必要であるため、令和6年度中に救急救命士を新たに10名採用し、現在は12名体制となりました。これにより、医師や看護師が効率よく働けるようになったため、救急要請の不応需件数は格段に減少して令和6年の救急車受け入れ台数は7000台を超えました。

その結果、令和6年度の1日平均入院病床稼働数は498.4人（前年度467.1人）と増加し、医業収益は11.8億円増の245.4億円と改善しました。医業費用は、退職給付引当金の決算整理があったため、8.1億円減の235.5億円となり、医業収支はプラス9.9億円となりましたが、退職給付引当金の決算整理を除くと、材料費や給与費の高騰もあり、医業収支はマイナス7.5億円と、昨年度より1.4億円の改善が認められたものの、厳しい状況が続いています。各種補助金等を加えた病院総収支についても同様に、退職給付引当金の決算整理を除けば5.6億円の赤字となりました。

今年度も経費削減などの経営改善を図り、京都での高度急性期医療を担う基幹病院としての役割を全うしてまいります。

（2）京都第二赤十字病院

当院はこれまで、地域における中核的な高度急性期医療、救急医療、災害医療を行い、地域医療の発展に寄与してきました。令和6年度は、将来に向けた重要な転換点となり、最大の課題であった新病院建設について本社から正式な承認を得て、新たなステージに進むことができました。これにより、施設の老朽化・狭隘化といった長年の課題への対応が可能となり、医療提供体制の更なる充実が期待されます。また、手術支援ロボット「Da Vinci Xi」2台目を導入し、低侵襲手術体制の強化による安全・安心な医療提供を推進しています。患者満足度向上にもつなげ、より信頼される病院づくりを目指しています。



京都第二赤十字病院

一方、エネルギー価格の上昇や物価高騰、人件費増加、診療報酬の実質マイナス改定等の影響を受け、当院の経営環境は依然として厳しい状況です。持続的な成長と地域医療への貢献を果たすため、経営改善が喫緊の課題となっております。

令和6年度決算では、本社による退職給付債務の算出方法変更により、18.6億円の費用戻入れが発生し、医業収支は9.9億円、病院総収支は11.1億円の黒字となりました。しかし、特殊要因を除いた実質収支では、医業収支8.2億円、病院総収支7.5億円の赤字であり、年間新入院患者数の増加により、医業収益は約5億円増となったものの、物価高騰等による費用増加を吸収できず、厳しい経営環境が続いています。

令和7年度は、新病院建設実現に向けた準備を進めるとともに、医業収支赤字の3.5億円までの圧縮を経営目標に掲げています。収益面では「1カ月当たりの新規入院患者数」や「1日当たりの入院患者延数」を重要評価指標（KPI）として設定し、診療科別に目標管理と経営ヒアリングを実施し、目標達成に向けた取り組みを継続的に推進します。費用面では、7年ぶりの電子カルテおよび部門システム更新に伴う多額の投資費用が発生する厳しい状況ですが、医療の質向上と業務効率化を図ってまいります。

今後も地域に貢献し続ける病院であり続けるため、全職員が変革期の一員としての自覚を持ち、組織一丸となって病院の未来を切り拓いてまいります。

(3) 舞鶴赤十字病院

令和6年度の医業収支は、前年度の▲3.9億円から▲1.3億円へと大幅に赤字額を圧縮することができました。主な要因は、急性期病棟・地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟と、それぞれ異なる病床機能をもつ病床を効率的に運用する取り組みを行い、それにより病床稼働率が大幅に向上了ことによるものです。

診療体制においては、循環器内科医師の新たな確保により増員となり、令和6年12月からはアンギオ（心臓カテーテル）検査を開始することとなりました。また、前年度の令和6年1月にはリハビリテーション専門医が着任したことで、重度脳血管疾患患者の受け入れが可能となったことから、令和6年10月には回復期リハビリテーション病棟の施設基準の類上げ（3から1）の届け出を行い、再取得することができました。

さらに、当院の基本方針である「地域に根ざした安全で質の高い医療の提供」を実現すべく、診療報酬改定への的確な対応や患者満足度向上に努め、安定的な病院運営と経営改善にも取り組んでいます。

一方で、舞鶴市では人口減少と少子高齢化の進展により、医療需要や疾病構造の変化に加え、生産年齢人口の減少に伴う医療人材不足が地域全体の課題として顕在化してきました。こうした状況を踏まえ、舞鶴市の主導による「舞鶴市医療機能最適化検討会議」が令和6年度には5回の開催があり、外部の医療コンサルティング会社も交え、地域医療体制の根本的な見直しに向けた専門的分析と議論が進められました。

その成果として、舞鶴市と公的4病院の病院長は、令和7年2月21日に将来的な再編・統合を視野に入れた基本合意書を締結するに至りました。

今後も本社・支部と十分に連携を図りながら、地域に最適な医療提供体制の構築に向けた検討を進めていきます。



舞鶴赤十字病院

医療施設の概要

	病床数		診療科目	職員数(人)				入院患者数(人)		外来患者数(人)	
	許可	稼働		医師	看護師	他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
京都第一赤十字病院	604	600	リウマチ内科、総合内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、消化器内科、循環器内科、脳神経・脳卒中科、呼吸器内科、腎臓内科・腎不全科、消化器外科、肝胆脾外科、乳腺外科、小児外科、呼吸器外科、形成外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、小児科、新生児科、産婦人科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、精神科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、集中治療科、救急科、健診科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、病理診断科	362	756	459	1,577	181,904	498	280,544	1,164
京都第二赤十字病院	667	537	総合内科（内科）、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科、脳神経内科（神経内科）、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、気管食道外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、こころの医療科（精神科）、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科	335	713	475	1,523	163,666	448.4	284,465	1,175.5
舞鶴赤十字病院	198	155	内科・消化器内科・神経内科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科	14	118	113	245	43,365	119	80,437	332

注) 病床数・職員数は令和7年3月31日現在、患者数は令和6年度実績

7. 健康相談など医療社会事業

各赤十字病院においては、生活困窮者等の医療援護、訪問看護、検診活動、健康診断などの各種医療社会事業を実施し、併せて社会福祉団体等の依頼により、医師、看護師等の派遣事業を実施しています。

区分	件数	延日数	延派遣職員			
			医師	看護師	その他	計
京都第一赤十字病院	10	15	9	5	1	15
京都第二赤十字病院	12	21	5	25	0	30
舞鶴赤十字病院	7	7	2	5	0	7
合計	29	43	16	35	1	52

8. 看護師の養成

日本赤十字社の看護師養成は、約130年の歴史を有し、看護に関する幅広い能力を備えた赤十字看護師として、保健医療活動をはじめ災害救護活動、国際救援活動など広く社会に貢献できる人材の育成を行っています。

京都府支部における養成状況は次のとおりです。

(1) 養成施設及び学生数

(令和7年3月31日現在)

学校名	1年	2年	3年	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	46 (4)	38 (0)	39 (0)	123 (4)
京都第二赤十字看護専門学校	36 (1)	44 (6)	29 (1)	109 (8)
合計	82 (5)	82 (6)	68 (1)	232 (12)

() は男子学生の内数です。

(2) 進路等の状況（令和6年度）

学校名	所属病院	進学	その他	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	30	3	5	38
京都第二赤十字看護専門学校	21	1	7	29
合計	51	4	12	67

9. 血液事業

献血者の皆様をはじめ、献血推進にご尽力いただいた府民、並びに各種団体のご理解とご協力を得て、令和6年度献血者数は108,055人となり、管内医療機関への輸血用血液製剤の供給が滞りなく行われました。

また、広く府民の皆様に献血へのご協力を得られるよう、SNSを始めとした様々な広報媒体を活用することで、血液事業に対する理解を促すとともに、献血Web会員サービス（ラブラッド）の会員登録および献血予約を推進し、ご協力いただきやすい環境づくりに取り組んでいます。

(1) 令和6年度 献血状況

献血方法別	京都府		全 国	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
血漿献血	17,984	16.6	1,019,605	20.4
血小板献血	13,914	12.9	531,455	10.7
400mL献血	75,199	69.6	3,311,578	66.4
200mL献血	958	0.9	124,671	2.5
合 計	108,055	100	4,987,309	100

(2) 令和6年度 供給状況 (単位換算)

製剤別	京都府		全 国	
	単位	構成比(%)	単位	構成比(%)
全 血	0	0	0	0
赤血球	146,956	34.2	6,567,145	37.8
血 漿	52,182	12.1	2,145,819	12.4
血 小 板	231,150	53.7	8,659,942	49.8
合 計	430,288	100	17,372,906	100

※単位換算とは、200mL献血由来を1単位として換算したもの。



献血バスでの献血の様子



医療機関からの要請により、
輸血用血液製剤を届ける様子

(3) 若年層献血者確保対策

今後の輸血医療を支えていく若年層（特に小中高生）を対象に献血セミナーを開催し、将来の献血者となるよう啓発に努めています。職員が会場に出向く出前形式や、インターネットを活用したオンライン形式等、皆様のニーズに応じた形で実施しています。

また、献血のご協力が減少しがちな冬季のイベントとして、12月に「全国学生献血クリスマスキャンペーン」を全国的に実施しました。京都府でも京都府学生献血推進協議会のメンバーが、若者を中心に広く府民への献血の協力を呼びかけました。



献血セミナーの様子（京都北部の高校にて）



京都府学生献血推進協議会による
全国学生献血クリスマスキャンペーンの様子

10. 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として各国の赤十字社・赤新月社やジュネーブにある赤十字の国際機関とともに国際救援活動を行っています。

各国の赤十字社は互いに協力しながら活動を続けており、京都府支部においても救援金の受付や救援事業等を行いました。

(1) 海外救援金

① 海外救援金（令和7年3月末現在）

区分	京都府支部		
	令和6年度受付分	受付開始からの累計額	
中東人道危機救援金	0件	0円	1,565,370円
バングラデシュ南部避難民救援金	0件	0円	2,552,227円
アフガニスタン人道危機救援金	1件	40,000円	53,023円
ウクライナ人道危機救援金	6件	10,038,012円	53,091,039円
イスラエル・ガザ人道危機救援金	3件	21,297円	1,411,297円
2024年台湾東部沖地震救援金	12件	2,013,134円	2,013,134円
レバノン人道危機救援金	2件	15,000円	15,000円
海外無指定救援金	3件	13,000円	3,393,123円
合計	27件	12,140,443円	

② 「第42回NHK海外たすけあい」寄付金 (期間 令和6年12月1日～25日)

取扱窓口	京都府	全国
支 部	893,229円	44,883,335円
N H K	385,261円	18,755,367円
銀 行 等	420,000円	21,954,245円
本社(郵便局含む)		640,348,471円
合 計	1,698,490円	725,941,418円



NHK海外たすけあい街頭募金活動

③ 青少年赤十字海外支援事業

日本赤十字社の青少年赤十字海外支援事業として実施し、ネパール赤十字社における水や衛生設備の整備事業及びバヌアツ赤十字社における子どもたちの防災教育事業資金に充当しました。

日赤京都府支部有功会の国際援助協力事業 30,000円

(2) 支部国際活動参加事業

日本赤十字社では、アジア・大洋州地域における災害対策事業の一環として、救急法等の講習普及支援を平成16年度から実施しています。京都府支部は、令和6年度にラオス赤十字社に対し、1,000,000円の資金協力を进行了。

(3) 研修会

研修名	日時	会場	参加人数
令和6年度日本赤十字社第4ブロック 合同国際人道法普及研修 講師：国際人道法概論	1/17	オンライン	4



11. 社員（支援者）増強と社資（活動資金）募集

日本赤十字社は、赤十字の基本理念である人道の精神に基づき、国内はもとより全世界の平和と福祉の増進のため、各種の事業活動を続けておりますが、これらの活動のための事業資金は、赤十字運動の支援者の皆様から寄せられる活動資金が財源となっています。

毎年5月の「赤十字運動月間」を中心に、府民の皆様のご支援に加え、地区・分区をはじめ、赤十字奉仕団、協賛委員、有功会等関係者の皆様から積極的なご協力をいただいた結果、令和6年度は374,770,737円もの活動資金へのご寄付をいただきました。なお、口座振替やクレジットカード決済等による活動資金募集につきましては、2,434件 14,993,879円のご寄付があり、ご協力いただいた方が居住されている地区の実績額に加算しております。

また、遺贈・相続財産からご寄付をいただけるよう令和6年12月に㈱京都銀行「相続・資産承継ご相談プラザ」に案内パンフレットを配架しました。

今後とも、時代に見合った参加しやすい環境を整備し、一層皆様のご理解を得て、支援者の増強と活動資金の増収に向け、取組を推進してまいります。

(1) 活動資金収納状況

(各年3月末現在)

区分		令和6年度(円)	令和5年度(円)	対前年度比較(%)
地区扱い	京都市	98,344,375	96,693,802	101.7%
	府内14市	74,727,630	66,832,982	111.8%
	府内町村	10,960,498	15,331,348	71.5%
	小計	184,032,503	178,858,132	102.9%
支部扱い		190,738,234	184,188,986	103.6%
合計		374,770,737	363,047,118	103.2%

※個人住民税控除適用海外救援金を除く

(2) 会員数 (※)

(各年3月末現在)

区分	令和6年度			令和5年度		
	個人	法人	合計	個人	法人	合計
地区扱い	京都市	343	56	399	488	149
	府内14市	119	12	131	167	19
	府内町村	15	0	15	12	0
	小計	477	68	545	667	168
支部扱い		1,449	288	1,737	2,277	648
合計		1,926	356	2,282	2,944	816
※年額2,000円以上を寄付の上、会員登録いただいた方						

(3) 社資功労表彰件数

(3月末現在)

表彰名	件数
日本赤十字社長感謝状	38
金色有功章	63
銀色有功章	48
日本赤十字社京都府支部長感謝状	56

地 区 別 実 績 額

京都市内 地区	金額
北 区	7,915,186
上京区	7,738,408
左京区	12,528,411
中京区	10,280,543
東山区	8,811,950
山科区	7,999,736
下京区	6,894,272
南 区	6,445,173
右京区	12,011,289
西京区	7,271,746
伏見区	10,447,661
合計①	98,344,375

広域振興局 地区	金額
山城（乙訓）	831,819
山城（山城北）	2,691,517
山城（山城南）	2,682,133
南 丹	1,903,876
丹 後	2,851,153
合計③	10,960,498
地区計（①+②+③）	184,032,503
支部扱	190,738,234
合計	374,770,737

京都府内 地区	金額
宇治市	18,455,714
亀岡市	7,574,793
綾部市	4,521,955
福知山市	5,866,547
宮津市	1,546,917
舞鶴市	5,486,169
城陽市	3,921,017
向日市	2,012,583
長岡京市	5,343,575
八幡市	2,277,080
京田辺市	3,642,053
京丹後市	5,964,117
南丹市	3,813,875
木津川市	4,301,235
合計②	74,727,630

12. 赤十字思想の普及・広報活動

(1) 赤十字月間キャンペーンの実施

5月1日は、日本赤十字社の前身である「博愛社」が創設された日であり、5月8日の「世界赤十字デー」は、赤十字社の創設者であるアンリー・デュナンの生誕の日です。こうした歴史的な日のある5月を毎年『赤十字運動月間』として、赤十字活動へのご理解とご協力を呼びかけています。京都府支部においても、赤十字の活動について一人でも多くの皆様の理解と協力をいただくための取組を行いました。

(2) イベント・キャンペーン開催・参加状況

名称	実施日	場所
北区ふれあいまつり2024	5/26	京都府立清明高等学校
1日体験会 ～せきじゅうじってどんなとこ？～	6/2	京都府支部
上京の子どもまつり2024	6/9	京都市立新町小学校
第3回「おおはら知恵袋」	7/17～22	大丸京都店
東山区民ふれあいひろば2024	9/23	東山区役所
右京区民ふれあい文化フェスティバル	10/26	太秦安井公園
令和6年度府民交流フェスタ	11/3	京都府立植物園
左京区民ふれあいまつり2024	11/6	左京区役所
ふれあい“やましな”2024区民まつり	11/23	山科中央公園
令和6年度下京区総合防災訓練	12/8	梅小路公園
赤十字フェスタ in KYOTO	3/1、2	イオンモールKYOTO Sakura館

(3) 管内施設PRイベントの共同開催

3月1日、2日に、イオンモールKYOTOにおいて管内施設（京都府支部、京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、京都府赤十字血液センター）によるPRイベント「赤十字フェスタ～あなたと共に赤十字～」を開催いたしました。

健康チェック、運動機能分析、けんけつクイズ、救急法、防災等のブースを展開し、また、ステージでは、健康セミナー、スペシャルトークショー、講演（AED関連）を行い、子どもから高齢者まで2日間で1,000名超が来場されました。



赤十字フェスタ～救急法を体験～

(4) 広報活動の展開

広報内容	期間	場所	備考
赤十字バナーの掲揚	4/13～5/26	七条通（下堀詰町～茶屋町）	
各戸チラシの配布	4～5月	府内全域	地区・分区を通じて配布
市民しんぶん等による広報	4～5月	各地域での啓発	地区に依頼
ポスターの掲示	5月	JR西日本 京都市営地下鉄 阪急電鉄 近畿日本鉄道	
レッドライトアッププロジェクト	5月	京都府庁旧本館 京都市役所本庁舎 舞鶴赤十字病院 京都府赤十字血センター	
デジタルサイネージ	5月	三条会商店街	
広報紙「赤十字きょうと」の発行	7月	会員等に送付	
記念誌「京都の赤十字 1889-2024」の発行	11月	令和6年京都府赤十字大会で配布	
広報誌「赤十字きょうとミニ」の発行	2月	DMに同封	
テレビCM	通年	KBS京都、 京丹波町ケーブルテレビ、 KCN京都、 笠置町ケーブルテレビ、 KCNなんたん	
ラジオCM	通年	KBS京都、エフエム京都、 FMうじ、FMいかる、 FMまいづる	
パネル展示	5/1～10	右京区役所	
	5/13～17	左京区役所	
	8/5	北区 鷹峯学区	
	9/1	長岡京市防災フェスタ	
	9/4～5	京都府立嵯峨野高等学校	
	9/5～6	京都府立北嵯峨高等学校	
	11/17	せいか祭り	
	11/24	下鳥羽ふれあいカーニバル	

(5) マスコットキャラクター「ハートラちゃん」出動状況

名称	期日	場所
新入生歓迎会	4/8～11	京都府立山城高等学校
ミッション・イン・ホスピタル6	8/4	舞鶴赤十字病院
文化祭	9/12～13	華頂女子高等学校
京都府支部有功会小児病棟入院児童激励事業	12/24、25	京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院

(6) SNS活動の展開

より多くの方に日本赤十字社の活動を知っていただくため、ソーシャルメディアを活用して積極的に情報を発信するとともに、日本赤十字社に対するご意見等を収集しています。

ホームページやフェイスブックの運用、また、令和7年2月より新たに公式インスタグラムアカウントを開設し、マスコットキャラクターである「ハートラちゃん」が日々の活動を紹介する動画を投稿し、幅広い年齢層に向けた情報発信に取り組みました。



府民交流フェスタ～家族で救護服体験～



上京の子どもまつり～無線体験～



下京区総合防災訓練～救急車の乗車体験～



「せきじゅうじってどんなとこ？」1日体験会
～新聞紙でできるスリッパ作り～

(7) 学校、病院等における講義・研修

名称	実施日	内容	備考
京都第一赤十字病院 新入看護職員研修会 赤十字概論 II	4/8	バングラデシュ南部避難民保健医療支援事業活動報告、ラオス赤十字社救急法普及支援事業派遣報告	対面講義
京都第一赤十字看護専門学校 災害看護論	4/19	基礎行動、無線通信	対面演習
京都第二赤十字看護専門学校 災害医療論（災害救護）	5/13	日本赤十字社と支部の役割と活動、日本赤十字社の救護活動（法的根拠、救護活動の範囲）、支部の事業	対面講義
日本赤十字秋田看護大学 国際看護学	5/13	赤十字の国際活動（ケニア地域保健強化事業、バングラデシュ南部避難民保健医療支援事業、ラオス赤十字社救急法普及支援事業）	WEB形式
京都第二赤十字看護専門学校 災害医療論（国際活動）	5/15	国際赤十字・赤新月運動、東日本大震災での活動、日本赤十字社の国際活動（ケニア地域保健強化事業、バングラデシュ南部避難民保健医療支援事業）	対面講義
京都第一赤十字看護専門学校 グローバルヘルス	5/31～ 10/9 (5回)	グローバルヘルスの概念、国際協力のしくみ、国際看護活動の展開、国際救援と看護	対面講義
京都第二赤十字看護専門学校 災害医療論 I	6/18	災害救護の基礎知識（救護班編成と役割、支援体制）	対面講義
京都第一赤十字病院 グローバルヘルス I	8/6	国内外の保健・医療・福祉・看護の動向 自施設に来院する外国人や施設の地域特性	対面講義
京都第一赤十字看護専門学校 看護学概論	9/26	国際看護とは、国際的な健康問題、看護の国際協力における組織・しくみ、国際看護活動の展開	対面講義
京都第一赤十字病院 グローバルヘルス II	10/29	健康に影響を及ぼす要因、日本赤十字社の国際事業、グローバルヘルスに関する概念、国内外の健康問題とヘルスケアシステム、多文化理解とヘルスケア	対面講義
京都橘大学看護学部 国際看護学 I	1/9	赤十字のあゆみと国際人道法、国際救援の 基本理念、赤十字国際活動（バングラデシ ュ南部避難民保健医療支援事業、ラオス救 急法普及支援事業）	対面講義
京都第一赤十字看護専門学校 災害看護論	1/14	トリアージ、救護所演習	対面演習

資料

令和 6 年度の主な行事

赤十字大会の開催

項目	期日	場所	参加者数
全国赤十字大会	5月15日(水)	東京都・明治神宮会館	28
京都府赤十字大会	11月12日(火)	宝ヶ池プリンスホテル	約500

評議員会

実施日	場 所	議 案
6月20日(木)	京都府支部	支部・施設の令和5年度決算等
2月 7日(金)	京都府支部	支部・施設の令和7年度予算等

業務・会計監査

実施日	対象施設
5月31日(金)	京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、舞鶴赤十字病院、京都府赤十字血液センター、京都府支部

その他行事

実施日	内容	開催場所等
5月1日(水)～31日(金)	赤十字運動月間	京都府内一円
6月15日(土)	第4ブロック合同災害救護訓練	和歌山県
10月16日(水)	有功会総会	京都市下京区
10月26日(土) ～27日(日)	近畿府県合同訓練(京都府総合防災訓練)	福知山市
11月6日(水)	日赤紺綏・有功会会长協議会総会	岩手県
11月9日(土)	京都市総合防災訓練	京都市左京区
12月1日(日)～25日(水)	「NHK海外たすけあい」運動	京都府内一円
12月14日(土)	「NHK海外たすけあい」街頭募金キャンペーン	京都市下京区

表 彰

表章区分		表章基準	個人 (人)	法人 (社・団体)	合計
活動資金	紺 綏 褒 章	500万円以上(個人) 1,000万円以上(法人)	9	0	9
	厚生労働大臣感謝状	100万円以上 500万円未満(個人)	12	1	13
		300万円以上 1,000万円未満(法人)			
	社資功労感謝状	金色有功章受章後 50万円以上	22	16	38
	金色有功章	50万円以上	40	23	63
	銀色有功章	20万円以上	34	14	48
	支部長感謝状	10万円以上	41	15	56
小計			158	69	227
役 職	金色有功章	在職年数6年以上 他	1	0	1
	銀色有功章	在職年数3年以上 他	1	0	1
	小計		2	0	2
奉仕団員等奉仕者	業務功労感謝状	金色有功章受章後 活動年数10年以上	8	0	8
	金色有功章	活動年数20年以上	54	0	54
	銀色有功章	活動年数15年以上	70	0	70
	支部長感謝状2	活動年数10年以上	102	0	102
	支部長感謝状1	活動年数5年以上	112	0	112
	小計		346	0	346

役職員名簿

(令和7年6月1日現在)

京都府支部

支 部 長	西 脇 隆 俊
副 支 部 長	小 石 原 篤 和
"	奥 田 敏 晴
"	吉 本 秀 樹
監 査 委 員	武 田 盛 治
"	渡 邊 隆 夫
"	土 井 伸 宏
顧 問	松 井 孝 治
事 務 局 長	岡 本 吉 弘
総 務 課 長	西 田 祐 司
組織振興課長（兼）	西 田 祐 司
事業推進課長	砂 野 高 士

京都第二赤十字病院

院 長	魚 嶋 伸 彦
副 院 長	藤 原 浩 芳
"	平 田 学
"	永 金 義 成
事 務 部 長	浅 山 尚 紀
看 護 部 長	石 野 嘉 佳 子

京都第二赤十字看護専門学校

学 校 長（兼）	魚 嶋 伸 彦
副 学 校 長	副 島 和 美
事 務 部 長（兼）	浅 山 尚 紀

京都第一赤十字病院

院 長	大 辻 英 吾
副 院 長	沢 田 尚 久
"	大 澤 透
"	上 島 康 生
事 勿 部 長	益 田 結 花
看 護 部 長	蘆 田 美 栄

舞鶴赤十字病院

院 長	片 山 義 敬
副 院 長	米 山 聰 翠
事 勿 部 長	宮 田 英 樹
看 護 部 長	奥 野 佐 千 子

京都府赤十字血液センター

所 長	堀 池 重 夫
事 勿 部 長	坂 本 靖 之
事 業 推 進 部 長	辻 田 千 博

京都第一赤十字看護専門学校

学 校 長（兼）	大 辻 英 吾
副 学 校 長	小 林 尚 美
事 勿 部 長（兼）	益 田 結 花

評議員名簿

(令和7年6月5日現在)

地区名等	氏名	地区名等	氏名
北区	山本勝保 辻和男	舞鶴市 向日市	鴨田秋津 安田守
上京区	山田陽一 柴垣隆雄	長岡京市 八幡市	中小路健吾 川田翔子
左京区	戸川隆博 風間隨成 清水浩平	京田辺市 京丹後市 南丹市	上村崇 中山泰 西村良平
中京区	河邑明佳 勝田鈴子	木津川市 山城	谷口雄一 前川光
東山区	田島吉廣 澤田修一		信貴康孝 西島寛道
山科区	○◇澤田清一 吉井重光		勝谷聰一 山本篤志
下京区	小川原繁 大竹辰夫		馬場正実 杉浦正省
南区	石原國男 高落秀男	南丹	平沼和彦 畠中源一
右京区	市田悦万 森田真利 細野嘉子	丹後 支部長選出	山添藤真 ◇石井明三 ◇奥田光治 ◇林建志
西京区	関谷一男 田畑たつ子		◇安道光二 小川雅史
伏見区	日高秀昭 社務厚子 村尾平志郎		平野正人 俊政和
宇治市	松村淳子		足達靖彦
龜岡市	桂川孝裕		松本尚子
綾部市	山崎善也		安井邦子
福知山市	大橋一夫		
宮津市	城崎雅文		

(順不同・敬称略) 本社役員等: ○理事 ◇代議員 定数58名

日本赤十字社京都府支部 地区・分区組織図

日本赤十字社京都府支部 (支部長 西脇 隆俊)

	令和 7年 4月 1日現在		
京都市内	11地区		
京都市を除く市	14地区		
府振興局	3地区	11分区	
計	28地区	11分区	

京都市地区 (本部長 京都市副市長)

北区地区 (北区長)	宇治市地区 (宇治市長)	山城(乙訓)地区 (山城玄城振興局長)	大山崎町分区
上京区地区 (上京区長)	龜岡市地区 (龜岡市長)	山城(山城北)地区 (山城玄城振興局長)	久御山町分区、井手町分区、宇治田原町分区
左京区地区 (左京区長)	綾部市地区 (綾部市長)		
中京区地区 (中京区長)	福知山市地区 (福知山市長)		
東山区地区 (東山区長)	宮津市地区 (宮津市長)	山城(山城南)地区 (山城玄城振興局長)	笠置町分区、和束町分区、精華町分区、南山城村分区
山科区地区 (山科区長)	舞鶴市地区 (舞鶴市長)		
下京区地区 (下京区長)	城陽市地区 (城陽市長)		
南区地区 (南区長)	向日市地区 (向日市長)		
右京区地区 (右京区長)	長岡京市地区 (長岡京市長)		
西京区地区 (西京区長)	八幡市地区 (八幡市長)		
伏見区地区 (伏見区長)	京田辺市地区 (京田辺市長)		
	京丹後市地区 (京丹後市長)		
	南丹市地区 (南丹市長)		
	木津川市地区 (木津川市長)		
	14市 14地区		

宇治市地区 (宇治市長)	山城(乙訓)地区 (山城玄城振興局長)	大山崎町分区
龜岡市地区 (龜岡市長)	山城(山城北)地区 (山城玄城振興局長)	久御山町分区、井手町分区、宇治田原町分区
綾部市地区 (綾部市長)		
福知山市地区 (福知山市長)		
宮津市地区 (宮津市長)	山城(山城南)地区 (山城玄城振興局長)	笠置町分区、和束町分区、精華町分区、南山城村分区
舞鶴市地区 (舞鶴市長)		
城陽市地区 (城陽市長)		
向日市地区 (向日市長)		
長岡京市地区 (長岡京市長)		
八幡市地区 (八幡市長)		
京田辺市地区 (京田辺市長)		
京丹後市地区 (京丹後市長)		
南丹市地区 (南丹市長)		
木津川市地区 (木津川市長)		
14市 14地区		

施 設 一 覧

■ 日本赤十字社京都府支部

〒602-8044

京都市上京区下立壳通油小路西入東橋詰町178 TEL 075(468)1182

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/kyoto/>

■ 京都第一赤十字病院

〒605-0981

京都市東山区本町15-749 TEL 075(561)1121

ホームページ <https://www.kyoto1.jrc.or.jp/>

■ 京都第一赤十字看護専門学校

〒605-0981

京都市東山区本町15-749 TEL 075(533)1269

ホームページ <https://www.kyoto1.jrc.or.jp/school>

■ 京都第二赤十字病院

〒602-8026

京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355-5 TEL 075(231)5171

ホームページ <https://www.kyoto2.jrc.or.jp/>

■ 京都第二赤十字看護専門学校

〒602-8015

京都市上京区衣棚通出水下ル常泉院町133-3 TEL 075(441)2007

ホームページ <https://www.kyoto2.jrc.or.jp/nursing>

■ 舞鶴赤十字病院

〒624-0906

舞鶴市字倉谷427 TEL 0773(75)4175

ホームページ <https://maizuru.jrc.or.jp/>

■ 京都府赤十字血液センター

〒612-8451

京都市伏見区中島北ノ口町26番地 TEL 075(603)8800

ホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/kk/kyoto/index.html>

四条出張所（献血ルーム四条）

〒600-8006

京都市下京区四条通柳馬場西入立壳中之町99四条SETビル5F

TEL 0120(640)388

京都駅前出張所（献血ルーム京都駅前）

〒600-8216

京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町735京阪京都ビル6F

TEL 0120(569)356

伏見大手筋出張所（献血ルーム伏見大手筋）

〒612-8053

京都市伏見区東大手町763若由ビル1F TEL 0120(731)350

福知山出張所

〒620-0853

福知山市長田野町1-31-1 TEL 0773(27)6630

令和6年度事業報告書

発行 令和7年6月

発行元 日本赤十字社京都府支部

住所 京都府京都市上京区下立売通油小路西入東橋詰町178

TEL 075-468-1182

FAX 075-468-1789